



留学生ホットライン ニュースレター 2016

目次

- 代表からのご挨拶・・・P1
- 領事館からのメッセージ・・・P2
- コーディネーターから・・・P2
- 2015年活動報告・・・P3
- 2015年収支報告・・・P3
- 2015年度ドナーリスト・・・P4
- サポートのお願い・・・P4
- ボランティアトレーニング・・・P5
- 新人ボランティアから一言・・・P5
- ボランティアインタビュー・・・P6
- とある留学生ホットラインの
午後(まんが)・・・P7

留学生ホットライン

Ryugakusei Hotline
(213) 473 - 1630
231 E. Third Street Suite G-106
Los Angeles CA 90013
<http://ryugakusei.ltsc.org/>



代表からの挨拶

激しい大統領選挙が進行中ですが、アメリカは世界に与える影響は大だと思えますので、地球規模の真の平和を約束してくれるようなそんな大統領であって欲しいと願っています。

さて、近年明るいニュースとして日本で相次いでいるノーベル賞受賞があります。1949年の湯川秀樹さんから1990年までのノーベル賞受賞者は5名、2000年以降は16名、昨年2015年に受賞された生理学医学賞を大村智氏、物理学賞に梶田隆章氏のお二人。医学生理学の大村さんは年間数千という微生物を採取するという、地道な取り組みから成功を導き出したということですし、物理学の梶田さんは先輩たちが始めたニュートリノ研究を通じて、いくつもの画期的な成果を上げながら、物質や宇宙の成り立ちといった“根源的な謎”に迫り続けているということです。このような地道な弛まぬ努力を日々重ねているからこそ世界の人々に先んじ貢献することができるのではないかと思います。

そこで私たち留学生ホットラインも地道ながらも毎日毎日を大切に留学生の皆さんがいつでもどんなことでも気軽に相談できかつ適切にサポートできるよう日々勉強してゆきたいと思います。この頃どこで電話番号を調べたのか何うと日本にいる親が留学していたことがあるのでとか同じく以前留学していた知人とかと答えてくれる人が多くなってきました。当団体も25年も継続していると親から子の代になっているのかと感慨深くもあり、改めてもっともっと皆さんの学生さんのお役に立たせていただこうと心を新たに致しました。アメリカで勉強した留学生達がこれからの住みよい日本を作ってくれるよう期待し、陰ながら応援してゆきたいと思います。

代表 和田容生子

領事館からのメッセージ

ロサンゼルス総領事館の管轄する南カリフォルニア及びアリゾナ州には、多くの日本人が留学しています。

しかしながら、2015年はサンバーナーディーノ市の銃撃テロ事件をはじめ、テロ事件の発生に対する警戒感が高まっているほか、犯罪件数も日本とは比べものにならないほど多いのが現状です。

いつ起こるか分からない事故や災害、緊急事態に備え、緊急時の連絡先として、海外に3か月以上滞在の方は在留届に、滞在期間が3か月未満の方はたびレジにご登録ください(詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。)

慣れない海外生活で不安やストレスを感じることも多いかもしれませんが、ロサンゼルス総領事館は留学生ホットラインと協力しながら、これからも留学生皆様の留学生生活を応援していきます。

在ロサンゼルス日本国総領事館 副領事 高橋秀夫

留学生ホットラインについて



留学生ホットラインは1991年の発足以来、言葉や文化の壁、治安やビザの問題などで悩む留学生が充実した留学生活を送れるよう、電話による日本語での情報照会を通してサポートしています。



ビザの問題をはじめ精神衛生、学校やハウジングのトラブル、健康問題や事故、犯罪関係の問題などについて1万5千件以上の電話を受付け、対応して来ました。また、2008年に日本政府より外務大臣表彰を授与されたことは望外の喜びでした。



ホットラインのスタッフは全員がボランティアで団体の主な財源はコミュニティーの個人及び諸団体からの寄付によります。

ボランティアコーディネーターから

昨年からはボランティアを始めた YUKI です。

今期はボランティアコーディネーターという新たな任務を頂き、更に身の引き締まる思いです。留学生ホットラインにお電話を下される方々に「相談して本当に良かった」と思って頂けるようボランティア一人一人のスキルの向上とチームワークのパワーアップに取り組んでいきたいと思っています。よろしく願い致します。

YUKI

2015 年インテイク統計

性別：

女性	男性	不明
86	46	2

相談内容：

ビザ関係	学校	交通	ハウジング	健康	犯罪	生活	その他
51	32	4	18	7	5	12	10

留学生ホットライン 2015年 活動報告



1月1日 お正月 in リトル東京 おしるこブース出店
(ファンドレイジング)

4月 ニュースレター 23号発行

4月～5月 ボランティアトレーニング



2015 年収支報告

支出			収入	
オフィスレント		3,600.00	ドネーション	2,920.00
会計手数料		402.50	イベント:	1,446.00
サプライ		506.43	お正月 in Little Tokyo	
切手、郵便代	158.76		銀行利子、アジャストメント	0.74
プリンターインク	114.43			
カード封筒、その他	55.75			
備品: プリンター		79.49		
イベント費用		689.94		
お正月 in Little Tokyo	557.56			
ボランティアトレーニング	132.38			
広報		897.24		
合計		6,175.60	合計	4,366.74
損益				-1,808.86

ドナーリスト (敬称略)

Precious Donor

Abe, Shinji
Aoki, Yoshio
Cude, Mitsuko
Hallenberg, Kiyoko
Hongo, Yoko
Irie, Kenji
Isono, Masayo
Kuromizu, Nobuko
Matuo, Hiromu

Narumi, Margaret
Okawa, Chizu
Tanaka, Shinichi
Consulate general of
Japan, Los Angeles
Kass Foundataion
United Television
Broadcasting



Mr. Matsuo

Special Thanks

Hasegawa, Ron
Usami, Chihiro
Lighthouse
L'ovest
Mutual Trading Co., Ink
Taki Law Office
Vivid Navigation

サポートのお願い

留学生ホットラインはコミュニティの皆さまからのご寄付で成り立っており、昨年も多くの個人、団体からご支援を賜りました。ボランティア一同、感謝に絶えません。皆様からの貴重な御寄付は、留学生達のために大切に使用させていただきます。留学生ホットラインの必要性を感じている方々がいて下さるという事実は、私たちボランティアを何よりも勇気付けてくれます。

近年、留学生の数は減少し、インターネット等を利用した相談方法も増えてきたため、電話の件数は減っています。しかし簡単には解決できない問題や心の悩みなど、電話で直接話を聞いて欲しいというニーズがある限り、留学生ホットラインの活動を続けていきたいと思っております。

私共のその様な思いにご賛同いただけたら是非、当団体を通して留学生達を御支援下さい。

ご寄付につきましては：

1、チェックを郵送の場合、宛先は” Little Tokyo Service Center” として、左下に” RHL” と明記して下さい。(同封のドネーションスリップと返信用封筒をご利用下さい)

2、銀行振り込みの場合、下記の口座にお願い申し上げます。

Bank of the West Business Interest Checking Account
Little Tokyo Service Center (Ryugakusei Hotline)
Routing No. 122242843 Account No. 770014884

3、  PayPal でのお支払いはご自分のアカウントにログイン後、マイアカウントのページに行き、” Send & Request “ から” Pay for Goods or Services”を選択して” ryugakusei@ltsc.org” と入力して下さい。



ボランティアトレーニング

2015年、4月4日から5月29日の間ボランティアトレーニングが行なわれ4名のボランティアが修了し現在、3名がリスナーとして活動しています。



ボランティアトレーニング講習内容

ボランティアの基本と姿勢・・・ソーシャルワーカー
領事館から知って欲しい事点・・・領事館スタッフ
留学生の基礎知識・・・スタッフ
ボランティアの責任について・・・スタッフ
情報照会について・・・スタッフ
日常の法律について・・・調停士
犯罪、交通関係・・・専門家
精神衛生・・・セラピスト
ビザについて・・・移民法弁護士
異文化の理解・・・ソーシャルワーカー
ドメスティックバイオレンス・・・ソーシャルワーカー
ロールプレイ、その他・・・スタッフ

新ボランティアから一言

アメリカへ来てから自分のことはいっぱいっぴいで、誰かのために何かをしたり、「ありがとう」って言うてもらえることって、なかなかできていませんでした。でも留学生ホットラインを通して、誰かの力になれることが私自身への自信へも繋がっています。何より、誰かから「ありがとう」と言ってもらえることが、私の心を温かくしてくれています。
ちかり



こんにちは。2015年の春からリスナーとして参加させていただいているモイソメぐみです。私も20年ほど前に、留学生としてロサンゼルスに住みはじめました。当初は英語もできず状況もわからず、まわりの人たちから助けていただいてなんとかサバイバルした思い出があります。違った文化や言語のなかで、心細さを感じてらっしゃる留学生の方々のお力に少しでもなれるよう、努力していきたいと思っています。
めぐみ



日系の情報誌でボランティア募集の記事を見つけ、少しでも社会のお役にたちたいと思い応募しました。

約2カ月の研修を受け、ボランティアとしての心構え、様々な分野の専門家の方によるレクチャーを受け、独り立ちして約1年、一緒に働く仲間にも恵まれ、勇気を出して応募して良かったと思っています。更に勉強をして、コーラーさんの悩みに寄り添えるリスナーを目指して参ります。
YUKI



RYUGAKUSEI HOTLINE
231 E. 3rd St., Suite G-106
Los Angeles, CA 90013